

公益財団法人日本バスケットボール協会 2025 年度選手育成指導者表彰受賞者一覧

No	推薦 都道府県	指導 カテゴリー	氏名	特筆事項
1	岩手県	U12 男子	サトウ ヨシノリ 佐藤 善則	長年にわたり U12 カテゴリーにおいて地元北上市でバスケットボールを通して競技の楽しさや仲間づくり、健全な青少年の育成を目指し指導されている。現在も自身の指導の姿を見せながら、若手コーチの育成に励むなど岩手県の U12 カテゴリーにおいて関係者並びに競技者に影響を与えている。
2	岩手県	U15 男子	イコマ ダイスケ 生駒 大輔	長年にわたり U15 カテゴリーにおいて、競技の普及、選手の育成に尽力されてきた。豊かな感受性がいつの時代も選手の心を掴み、確かな知識や経験に裏付けられた指導で高みを目指せるチームへと成長させている。率先垂範の精神は、若手指導者の目標にもなっている。
3	宮城県	U18 男子	サトウ ヒサオ 故 佐藤 久夫	仙台高校時代には、公立高校ながらウインターカップ 2 連覇を達成し、全国の常連校へと成長させた。退職後は、男子ヤングメン日本代表などのコーチとしても尽力。仙台大学付属明成高校赴任後は、海外リーグで活躍する選手をはじめ、多くのトップリーグ選手を育て、ウインターカップで 3 連覇を成し遂げた。2023 年 6 月に逝去したが、多くの指導者への功績が高く、指導者育成にも尽力した。
4	宮城県	U15 女子	カワタ ヨウコ 川田 容子	宮城県の U15 女子カテゴリーにおいて、県内はもちろんのこと全中やジュニアオールスターで数々の好成績を収め、長年にわたり牽引してきた。海外強豪大学に進学した選手の才能を早くから見出し、中学校入学後すぐに定期的に練習に招いたり、県選抜の一員として指導したりして、成長に大きく寄与した。
5	宮城県	U18 女子	オノ ユタカ 小野 裕	海外強豪大学に進学した選手の素質を早期に見抜き、世界に通用する心技体を育成した。 また、将来性豊かな才能を開花させ、大学バスケットボール界の主力として全日本大学選手権等で躍進させるなど、優れた選手を数多く輩出している。

No	推薦 都道府県	指導 カテゴリー	氏名	特筆事項
6	秋田県	U12 女子	カナマル アキラ 金丸 亮	長年にわたり秋田県 U12 カテゴリーでの指導に携わり、競技力向上とともに、地域を中心とした普及活動に尽力され、実業団などで活躍する選手を育成してきた。指導力だけでなく、人間的にも尊敬される人物で、若手コーチたちの模範となる人物である。
7	秋田県	U15 女子	コンノ トシユキ 今野 敏行	長年秋田県 U15 部会を牽引してきた人物である。バスケットボールの技術、戦術の指導力だけでなく、人間的にも尊敬され、多くの後輩コーチたちの良い手本となっている。 指導した選手の中には、現役引退後も W リーグ・JBA に貢献したり、地元での活動にも力を入れたりする者もあり、育成年代の選手に良い影響を与えている。
8	秋田県	U18 男子	ムラコシ タツヤ 村越 竜也	秋田県 U18 カテゴリーの指導に携わり、選手の育成に努めた。指導を受けた選手が指導者となり活動していることも多く、その点も評価に値する。 また秋田県の指導者養成に関わる活動にも尽力している。
9	秋田県	U18 女子	ヒワタシ マコト 樋渡 真	長年にわたり秋田県 U18 カテゴリーの指導の中心的な役割を担い、大学、W リーグ、実業団などで活躍する多くの選手を育成している。技術、戦術の指導力だけでなく、人間的にも尊敬される人物で、多くの後輩コーチたちの良い手本となっている。
10	東京都	U18 女子	タカギ ユウコ 高木 優子	オフェンス、特にシュートを重視した指導に定評があり、日本代表クラスの多くのシューターを育成した。また、選手には、将来的に周囲から信頼され、人として成長することを期待して指導に臨んでいる。指導する八雲学園高校が屈指の強豪チームであるだけでなく、東京都高体連では長年にわたり技術委員を務め、都内の多くのチームや選手、指導者に多大な影響を与えている。
11	兵庫県	U12 男子	ナカタ タカユキ 仲田 高幸	バスケットボールを通して、将来、社会に貢献できる人材に育てほしいとの願いを胸に、長年 U12 カテゴリーの指導に尽力してきた。2006 年兵庫国体に向けて、兵庫県ミニバスケットボール連盟の強化委員長として育成年代の強化に携わった。

No	推薦 都道府県	指導 カテゴリー	氏名	特筆事項
12	兵庫県	U18 男子	ハルタ カオリ 春田 加織	JBA 公認 A 級レフェリーとして全国大会、Wリーグで活躍し、国体チームスタッフや高体連淡路地区理事、地区協会理事長として長年、兵庫県、淡路地区の発展に尽力してきた。 選手の主体性を重視し、長所を伸ばす指導を心掛け、豊かな経験を選手に還元できるように取り組んでおり、県内女性コーチ、レフェリーのロールモデルといえる人物である。
13	山口県	U12 男子	モリモト トシフミ 森本 敏史	幼い初心者コーチする中、技術指導のみならず、バスケットボールの楽しさを伝えながら「心身の成長」に重きを置く指導は、保護者からの信頼も厚く、山口県内コーチの手本にもなっていた。現在は小学校長職に専念し、現場の指導からは離れているが地元クラブチームの代表を務めるなど地域貢献も継続的に行っている。
14	佐賀県	U18 男子	キタジマ ヒサト 北島 寿人	佐賀県内の複数校で監督を務め、県総体・ウインターカップ県大会の優勝は 22 回を数える。卒業生の中には選手や指導者としてもバスケットボールに関わっている者が多数いる。また、2017 年には、全国高等学校体育連盟優秀監督賞を受賞、国体少年男子監督、U18 九州ブロック強化委員長、U18 日本代表チームエントリーキャンプサポートスタッフ等も歴任している。